

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場会社名 日本特殊塗料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4619 URL <http://www.nttoryo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 万喜夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 業務本部長 (氏名) 田谷 純 (TEL) 03-3913-6134
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年11月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 19,062 | 5.7 | 654 | 93.9 | 1,642 | 20.3 | 1,392 | 16.6 |
| 26年3月期第2四半期 | 18,038 | 10.4 | 337 | 8.3 | 1,365 | 46.6 | 1,193 | 60.6 |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,148百万円(△61.0%) 26年3月期第2四半期 2,947百万円(325.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 62.96 | — |
| 26年3月期第2四半期 | 53.98 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 47,190 | 27,052 | 54.9 |
| 26年3月期 | 47,960 | 26,794 | 53.6 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 25,887百万円 26年3月期 25,707百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 4.00 | — | 8.00 | 12.00 |
| 27年3月期 | — | 4.00 | | | |
| 27年3月期(予想) | | | — | 6.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 39,000 | △1.0 | 1,000 | △23.3 | 2,800 | △15.9 | 2,100 | △22.6 | 94.97 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年11月5日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年3月期2Q | 23,611,200株 | 26年3月期 | 23,611,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期2Q | 1,500,165株 | 26年3月期 | 1,499,954株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年3月期2Q | 22,111,179株 | 26年3月期2Q | 22,111,817株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成27年3月期の個別業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,800 | 3.2 | 1,950 | 1.1 | 1,500 | 0.3 | 67.59 |

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる影響がありましたものの、企業収益の改善、雇用環境の改善により緩やかな回復基調が続いております。一方、急速な円安による原材料等の輸入コストの増加や新興国経済の下振れリスクなど、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明感が残る状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、顧客ニーズに合致した製品開発や新規顧客の開拓など販売活動を強化するとともに、生産能力の増強、原価改善、生産性の向上など収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は自動車製品関連事業の受注が堅調に伸び190億6千2百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

損益面につきましては、増収効果および原材料価格の圧縮、コスト削減による原価改善等により営業利益は6億5千4百万円（前年同期比93.9%増）、経常利益は持分法による投資利益等で16億4千2百万円（前年同期比20.3%増）、四半期純利益は13億9千2百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、消費税率引き上げに伴う消費の落ち込みや天候不順の影響を受け、全体として売上高は前年同期を下回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は前年同期比1.6%増、防水用塗料は4.4%増と堅調にシェアを伸ばしましたが、屋根用塗料は前年同期比12.7%減少しました。航空機用塗料は、機体塗り替え需要等の下支えにより前年同期比22.9%と大きく増加しました。一方、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事は、消費税増税の駆け込み需要反動減などの影響を受け前年同期比32.9%と大きく減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は70億3千3百万円（前年同期比11.1%減）、セグメント利益は2億1千6百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、乗用車生産台数が堅調に推移したことで国内外での受注の増加により、売上高は前年同期を上回り、利益面も大きく改善しました。

品種別売上高につきましては、制振材は前年同期比8.7%の増加、防錆塗料は前年同期比12.0%の増加、吸・遮音材は25.2%増加しました。また、原材料輸出等のその他売上についても、好調を継続し前年同期比21.9%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は120億2千1百万円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益は4億3千4百万円（前年同期比24倍増）となりました。

③ その他

保険代理業の売上高は8百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

(注) 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高消去後の数値を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億7千万円減少し、471億9千万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少17億2千8百万円、受取手形及び売掛金の減少3億5千3百万円、流動資産その他の減少2億4百万円、有形固定資産の増加4億8千5百万円、株式市況の回復及び関係会社株式の増資等による投資有価証券の増加9億9千7百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億2千8百万円減少し、201億3千7百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少12億3千万円、借入金の減少6億7千万円、未払法人税等の減少3億1千5百万円、退職給付に係る負債の増加12億1千7百万円、繰延税金負債の減少4億円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億5千8百万円増加し、270億5千2百万円となりました。主な要因

は、利益剰余金の増加4億9百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億1千3百万円、為替換算調整勘定の減少3億4千万円によるものです。自己資本比率は1.3%増加し54.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17億8千3百万円減少し、29億2千6百万円となりました。

営業活動による資金は、4億円の収入（前年同期比6億5千3百万円の減少）となりました。この主な要因は、減価償却費7億8千3百万円、仕入債務の減少12億1千5百万円、法人税等の支払5億8千万円によるものです。

投資活動による資金は、14億2千万円の支出（前年同期比4億5千7百万円の増加）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億7千5百万円、関係会社株式の取得による支出2億6千2百万円によるものです。

財務活動による資金は、7億6千3百万円の支出（前年同期比1億3千4百万円の増加）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出6億7千3百万円、配当金の支払額1億7千6百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、欧州景気の低迷長期化、中国や新興国経済の下振れリスクが懸念されます。また、国内経済は、消費税率引き上げによる個人消費の減退や円安による輸入価格の上昇など、先行き不透明な状況にあります。

2015年3月期の業績予想につきましては、売上高は当初範囲内を予想しておりますが、利益面では原価改善効果、海外持分法適用関係会社の業績や為替換算上の影響を勘案し、前回予想を上回ることとなったため、平成26年5月7日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正しております。

[通期の連結業績予想]

| | | |
|-------|-----------|------------|
| 売上高 | 39,000百万円 | 前期比 1.0%減 |
| 営業利益 | 1,000百万円 | 前期比 23.3%減 |
| 経常利益 | 2,800百万円 | 前期比 15.9%減 |
| 当期純利益 | 2,100百万円 | 前期比 22.6%減 |

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,251,687千円増加し、利益剰余金が805,585千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,866,228 | 3,137,555 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,396,448 | 12,042,835 |
| 商品及び製品 | 1,116,578 | 1,166,811 |
| 仕掛品 | 401,855 | 371,312 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,088,766 | 935,532 |
| 繰延税金資産 | 391,568 | 392,748 |
| その他 | 539,244 | 334,862 |
| 貸倒引当金 | △6,363 | △5,721 |
| 流動資産合計 | 20,794,328 | 18,375,936 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,488,457 | 3,391,423 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,242,561 | 3,259,691 |
| 土地 | 3,373,793 | 3,373,793 |
| 建設仮勘定 | 329,669 | 833,860 |
| その他(純額) | 1,334,338 | 1,395,794 |
| 有形固定資産合計 | 11,768,819 | 12,254,563 |
| 無形固定資産 | 232,264 | 234,572 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 13,617,394 | 14,615,068 |
| 繰延税金資産 | 67,694 | 47,998 |
| その他 | 1,490,791 | 1,672,011 |
| 貸倒引当金 | △10,901 | △9,816 |
| 投資その他の資産合計 | 15,164,979 | 16,325,261 |
| 固定資産合計 | 27,166,064 | 28,814,397 |
| 資産合計 | 47,960,392 | 47,190,334 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,652,160 | 8,421,879 |
| 短期借入金 | 1,935,533 | 1,718,816 |
| リース債務 | 46,921 | 46,954 |
| 未払法人税等 | 539,280 | 223,509 |
| 役員賞与引当金 | 50,800 | 16,242 |
| その他 | 3,032,354 | 3,462,605 |
| 流動負債合計 | 15,257,051 | 13,890,007 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,111,569 | 1,658,209 |
| リース債務 | 168,858 | 145,667 |
| 退職給付に係る負債 | 2,866,838 | 4,084,637 |
| 繰延税金負債 | 724,061 | 323,273 |
| その他 | 37,403 | 35,925 |
| 固定負債合計 | 5,908,731 | 6,247,713 |
| 負債合計 | 21,165,782 | 20,137,720 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,753,085 | 4,753,085 |
| 資本剰余金 | 4,362,942 | 4,362,942 |
| 利益剰余金 | 13,335,252 | 13,744,263 |
| 自己株式 | △496,297 | △496,432 |
| 株主資本合計 | 21,954,982 | 22,363,857 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,398,360 | 3,511,547 |
| 為替換算調整勘定 | 391,378 | 51,315 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △36,840 | △39,441 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,752,898 | 3,523,422 |
| 少数株主持分 | 1,086,729 | 1,165,334 |
| 純資産合計 | 26,794,610 | 27,052,613 |
| 負債純資産合計 | 47,960,392 | 47,190,334 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 18,038,198 | 19,062,908 |
| 売上原価 | 14,597,527 | 15,206,876 |
| 売上総利益 | 3,440,671 | 3,856,032 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,103,045 | 3,201,244 |
| 営業利益 | 337,625 | 654,787 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 49,407 | 66,446 |
| 持分法による投資利益 | 925,914 | 885,057 |
| その他 | 92,083 | 72,971 |
| 営業外収益合計 | 1,067,406 | 1,024,474 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33,626 | 31,970 |
| その他 | 5,426 | 4,329 |
| 営業外費用合計 | 39,052 | 36,299 |
| 経常利益 | 1,365,979 | 1,642,962 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,469 | 2,697 |
| 関係会社清算益 | 1,467 | - |
| 受取保険金 | 1,199 | 5,667 |
| 特別利益合計 | 5,136 | 8,365 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 16,008 | 11,641 |
| 特別損失合計 | 16,008 | 11,641 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,355,107 | 1,639,686 |
| 法人税等 | 149,559 | 193,842 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,205,547 | 1,445,844 |
| 少数株主利益 | 12,034 | 53,699 |
| 四半期純利益 | 1,193,513 | 1,392,145 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,205,547 | 1,445,844 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 984,668 | 110,894 |
| 為替換算調整勘定 | 122,133 | △142,452 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 4,991 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 635,529 | △270,593 |
| その他の包括利益合計 | 1,742,331 | △297,159 |
| 四半期包括利益 | 2,947,879 | 1,148,685 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,923,471 | 1,162,669 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 24,407 | △13,983 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | (単位：千円) | |
|-------------------------|---|---|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,355,107 | 1,639,686 |
| 減価償却費 | 640,346 | 783,024 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 15,239 | - |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | - | △28,896 |
| 受取利息及び受取配当金 | △51,328 | △73,552 |
| 支払利息 | 33,626 | 31,970 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △925,914 | △885,057 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △2,469 | △2,255 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 16,085 | 11,199 |
| 受取保険金 | △1,199 | △5,667 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △407,143 | 322,963 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △124,059 | 126,026 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 276,549 | △1,215,999 |
| その他 | 49,468 | △64,691 |
| 小計 | 874,309 | 638,750 |
| 利息及び配当金の受取額 | 309,458 | 372,131 |
| 利息の支払額 | △27,624 | △36,180 |
| 保険金の受取額 | - | 5,703 |
| 法人税等の支払額 | △167,583 | △580,448 |
| 法人税等の還付額 | 65,544 | 230 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,054,103 | 400,186 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △51,888 | △79,196 |
| 定期預金の払戻による収入 | 90,588 | 24,588 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △926,753 | △975,170 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 20,531 | 3,350 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6,174 | △45,418 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △40,188 | △262,783 |
| 関係会社の清算による収入 | 1,467 | - |
| 貸付けによる支出 | △5,000 | △102,500 |
| 貸付金の回収による収入 | - | 51,760 |
| その他 | △45,850 | △34,966 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △963,268 | △1,420,336 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 272,462 | △56,147 |
| 長期借入れによる収入 | - | 73,844 |
| 長期借入金の返済による支出 | △767,546 | △673,894 |
| 自己株式の取得による支出 | △15 | △98 |
| 配当金の支払額 | △132,197 | △176,287 |
| 少数株主への配当金の支払額 | - | △14,065 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | - | 130,578 |
| 少数株主への払戻による支出 | - | △23,800 |
| その他 | △1,616 | △23,157 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △628,913 | △763,028 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 42,029 | △102 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △496,048 | △1,783,280 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,804,361 | 4,710,043 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,308,312 | 2,926,763 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注)3 |
|-----------------------|-----------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 塗料関連 | 自動車 製品関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,908,230 | 10,123,181 | 18,031,412 | 6,786 | 18,038,198 | — | 18,038,198 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,800 | — | 1,800 | — | 1,800 | △1,800 | — |
| 計 | 7,910,030 | 10,123,181 | 18,033,212 | 6,786 | 18,039,998 | △1,800 | 18,038,198 |
| セグメント利益 | 317,389 | 17,369 | 334,758 | 2,867 | 337,625 | — | 337,625 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注)3 |
|-----------------------|-----------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 塗料関連 | 自動車 製品関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,033,503 | 12,021,211 | 19,054,715 | 8,193 | 19,062,908 | — | 19,062,908 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,800 | — | 1,800 | — | 1,800 | △1,800 | — |
| 計 | 7,035,303 | 12,021,211 | 19,056,515 | 8,193 | 19,064,708 | △1,800 | 19,062,908 |
| セグメント利益 | 216,242 | 434,190 | 650,432 | 4,355 | 654,787 | — | 654,787 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。
この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。